

会社概要

JR西日本グループ中期経営計画2017



2013-2017

重点戦略

3つの基本戦略

安全 安全考動計画2017
CS 顧客起点の経営
技術 絶え間ない革新

+

4つの事業戦略

新幹線「高める」
新幹線のポテンシャルを高め、交流を促進
近畿エリア「磨く」
線区価値を向上し、都市の魅力を磨く
西日本各エリア「活かす」
各エリアの魅力を活かす事業展開
事業創造「伸ばす」
新たな事業分野への持続的挑戦

基盤づくり

社会の一員としての責任

新しいJR西日本グループの姿

経営ビジョン

事業活動を通じて西日本地域の活性化に貢献するために、安全マネジメントにおいて卓越し、お客様、地域、社会から信頼される企業グループをめざす

めざす未来 ～ありたい姿～

「私たちの使命」を果たす

「安全」「CS」「技術」にこだわり、鉄道を社会基盤として持続的に運営する使命を果たすとともに、安全で豊かな社会づくりに貢献する

+

「地域共生企業」となる

地域の皆様との交流と連携を深め、グループ一体でその地域に即した事業を展開して活性化に貢献する

2030年時点で連結売上高
1兆4000億円を目指す

■設備投資計画(連結)

2014年3月期～2018年3月期計画：連結設備投資 9,200億円

成長投資
2,300億円

・北陸新幹線
・新駅設置や駅リニューアル
・生活関連サービス事業拡大

事業の継続的運営に
必要な投資

・バリアフリー、CS 投資
・情報化関連投資

等

安全関連投資
4,700億円

・車両更新
・新ATC
・新保安システム
・地震津波対策 等

■2018年3月期 業績見通し(連結)

(単位:億円)

	2014年3月期 実績	2018年3月期 見通し
営業収益	13,310	13,060
運輸業	8,513	8,360
流通業	2,401	2,410
不動産業	1,022	1,010
その他	1,371	1,280
営業利益	1,345	1,275
運輸業	910	805
流通業	44	55
不動産業	277	330
その他	118	90
経常利益	1,129	1,065
当期純利益	656	660
運輸収入	7,806	7,640
ROA	5.1%	4.7%
ROE	8.6%	7.3%
EBITDA	2,884	2,925

(注)・営業収益は外部顧客に対する売上高
・セグメント別営業利益はセグメント間消去前
・運輸収入は運輸業のうち JR 西日本の鉄道事業の旅客運輸収入

■キャッシュの使途の優先順位

配分の優先順位	営業キャッシュ・フロー
① 安全・成長投資	
② 株主還元	
③ 債務削減	

※原則として長期債務残高維持(連結1兆円)
ただし、市場金利に留意しつつ残高をコントロールしていく

株主還元方針

長期安定的な株主還元を重視する観点から、引き続き、自己資本を勘案した株主還元を実施。具体的には、北陸新幹線金沢開業後のご利用状況や、本計画で掲げた目標の達成状況を踏まえ、2018年3月期に、連結ベースでの「自己資本総還元率(※)」3%程度を目指す。

※自己資本総還元率(%) = (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 連結自己資本 × 100